

平成30年度 学校自己評価表(計画)

学校運営計画		
学校運営方針	進取の精神と豊かな人間性を身につけ、国際化・情報化社会で活躍できる心身ともに健康な人間を育成する。	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
各分掌の総括により、目標値に達する項目が多く達成度は高い。教育活動の一つ一つを常に点検し、実施意義を再確認し、業務の効率化を意識すること、多様化する生徒の変化に対応した指導方針を確立することが課題である。	学力を伸ばし個性を生かすために、自ら進んで努力する生徒の育成	質・量の適切な課題の設定、面談等による生徒理解、教科指導力の向上
	自由と規律について正しく自覚し、協力し合える心豊かな生徒の育成	学校生活全体にわたる意識付け、生徒会活動・学校行事への積極的な参加
	困難にくじけないたくましい心と体をもった、健康な生徒の育成	精神的ケア・教育相談の充実、体育的行事の充実

1 分掌

	重点目標	具体的目標	具体的方策
教務部	よりよい授業研究	学力向上とともに魅力ある授業を行うための指導法や教材の研究ができる環境を整える。	授業研究週間を設けるとともに、教科会で指導法についての情報交換を活発に行うことで、授業力向上の一層の推進を図る。 わかりやすい年間指導計画（シラバス）を作成・配付し、計画的に授業を実施する。
	生徒募集の強化	中学生やその保護者に対して広報活動を行い、本校の特色の周知を図る。	3回実施するオープンスクールにのべ500人以上の参加者を目指す。 中学校に学校案内を広く配付し、ホームページを充実させ、情報発信に努める。
	効率的な校内運営と教育課程の見直し	多様化する生徒のニーズを把握し、長期的視点に立った教育的支援に努め、効率的な校務の運営や教育課程の編成を行う。	業務の精選とともに、各部署との連携を密にして効率的な校務運営を行う。 多様な生徒や海外大学進学コース生に対応した教育課程・評価規定を策定する。
	I C T機器の有効利用を図る	授業および校務の情報化を推進し、I C T機器を円滑に活用できるよう管理する。	全教職員が授業や校務においてI C T機器の活用ができるように校内研修を実施する。 教職員および生徒が支障なくI C T機器を利用できるように、日常的な管理を行う。
	渉外広報部	P T A ・ 育成会活動の広報を進めるとともに、活動の活発化を図る。	保護者との連携を強化する。
卒業生との絆を保つ。			同窓会常任幹事会に年1回以上参加し、職員に総会への参加を呼びかける。
生徒指導部	規範意識の向上と学校生活の充実をはかる	教職員間、保護者との共通理解を図り、生徒の健全な育成をめざす。	学年部及び全職員との情報交換を密にし、問題には迅速に対応する。 生徒指導部便りを適宜発行し、保護者と生徒に情報提供を行う。
		基本的生活習慣の確立と学校生活の充実を図る。	時間厳守・挨拶・制服・頭髪指導、公共交通機関でのマナーを徹底する。 寮生指導を月1回、登下校指導を年15回程度実施する。 外部講師による青少年育成講話を年1回実施する。
		部活動の活性化	部活動の時間確保と部活動への積極的参加を促す。

	重点目標	具体的目標	具体的方策	
保健環境部	明るく清潔な学習環境を整美する。	校舎内外の美化意識の向上 (生徒および職員)	7限終了後、すばやく清掃に取りかかり、全員で効率よく校内美化に努める。 簡易清掃翌日の整備委員による朝清掃を確実にこなせる。 大清掃および美化週間を定期的に行う。また各学年による年1回のワックスがけを実施する。	
	寮生が安全に規律正しい集団生活を送ることができるようにする。	寮生が自律的な寮生活を送ることができるようにする。	毎月校内で行う寮生指導を、寮別実施を基本としながら、学年別や全体で行うなど効果的に実施する。また、臨時寮生指導を適時行い規律意識の向上に努める。 各寮に出向いて、訪問指導を行う。また、必要に応じて、夜間の特別訪問指導を必要に応じて適時行う。	
進路指導部	キャリア教育の充実・達成率向上	大学進学を中心に生徒の進路希望を達成させ、大学等進学の達成率100%を目指す。	(三者)面談や進学相談を年間計5回以上実施し、適切な進路指導に努める。 LHR等において、計画的な進路学習・大学研究を行い、自己の将来を考えられるようにする。 年間5回程度の進路講演会を行い、進路や人生について考えさせる機会を設定する。 大学入試や大学についての適切な資料提供を行い、学級担任の指導に役立つ。 学年PTAなどを通して、年3回以上、保護者への情報提供を積極的に行う。	
			①コース全体計画の作成 ②コース啓発活動の実施(説明会、研修会、講演会) ③コース生募集、指導計画立案	学年と連携し ①コース全体計画を作成する。 ②中学校向け説明会、生徒向け講演会を実施する。 ③1学年からコース生を募集、決定し、指導する。
			①GS Iの授業案作成・シラバス改訂 ②GS IIのシラバス作成 ③コース生特別講習の内容作成	英語科と連携し、 ①GS Iの授業立案、シラバス改訂を行う。 ②GS IIのシラバスを作成する。 ③コース生特別講習の授業内容を立案して実施する。
			①英語フィードバック指導法研究 ②論理的思考力、課題発見、解決能力を養う授業の立案 ③コース生を対象にTOEFL講習を実施する	英語科と連携し、 ①英語ディベート指導法を研究し、指導する。 ②批判的思考力・論理的思考力、課題発見、解決能力を養う授業を立案する。 ③コース生を対象に、TOEFL講習を実施する。
グローバル部	海外大学進学コース課	①コース生向け手引き書の作成 ②エッセイ指導を含めて、生徒の出願手続きをサポートする。	①コース生向け海外大学進学の手引きを編集、発行する。 ③エッセイ・出願のサポートをする。	
		①キャンパスツアーの立案、実施	各学年と連携し、 ①キャンパスツアーを企画し、実施する。	
		研究開発	年間計画を作成し、連携大学と協力しながら研究開発を行う。 アンケートを通じて活動の評価を行う。	
		発表会企画・運営	SGH活動報告会・SGH成果発表会を企画・運営する。	
		情報発信	SGH通信を年2回以上発行する。 SGH報告書を発行する。	
SGH課	世界の地域課題に取り組む、国際舞台で活躍できる人材の育成	研究開発	年間計画を作成し、連携大学と協力しながら研究開発を行う。 アンケートを通じて活動の評価を行う。	
		発表会企画・運営	SGH活動報告会・SGH成果発表会を企画・運営する。	
		情報発信	SGH通信を年2回以上発行する。 SGH報告書を発行する。	